

令和4年度 土佐町社会福祉協議会事業報告書

〈事業総括〉

令和4年度は、新事務局長の元、新たな職員体制での組織づくりや、事業の在り方の再確認、マニュアルの大切さを意識した年となりました。

コロナ禍からの回復を期待しつつ、社協として「何を、どうすれば、できるのか」を考え、進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症が例年に比べてより身近に感じられ、事業遂行への影響を多大に受けた年でした。また、ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、世界の分断が供給制約を深め、食品やエネルギーなどの高騰に拍車がかかり、さらには歴史的なインフレが世界経済を襲い、日本経済も停滞しています。社協においても、益々、伴走型支援をはじめ、生活上の相談対応、ニーズの多様化への対応が必要となっています。

法人運営部では、新型コロナウイルス感染状況を考慮しながらも、3年ぶりに社会福祉大会を開催することができました。部会では、法的手続きや年間予定の確認をしながら事業実施に取り組みました。広報の在り方を検討し、広報誌の発行部数の見直しや前年度実施したアンケートの意見について、対応を図りました。不具合が生じていたホームページの復旧や運用については、業者へ依頼し、職員の負担軽減、運用の円滑化を図りました。

在宅福祉部では、アセスメントの重要性を意識しながら、その人の持っている強みやニーズ把握に努め、多様な生活課題への支援に取り組みました。

相談窓口機能「きいてねっと」を職員全体で意識し、相談の受付記録を徹底しました。また新型コロナウイルス感染症特例貸付の免除申請受付が始まり、生活困窮者自立支援員と連携して相談対応等に取り組みました。

地域福祉部では、あったかふれあいセンターの非常勤職員を増強し、全職員体制で事業に取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一部行事の中止を余儀なくされる事態も発生しましたが、部会においても丁寧に検討し、事業に取り組みました。

地域福祉活動計画推進において、地域担当職員としての関わりも徐々にでき始めています。各地域の現状を共有していくことを意識して、職員全員で地域支援に取り組みました。

◆法人運営部門◆

信頼を高めるために、情報発信を強化すると共に、住民の皆様との対話を大切にしてきました。また、福祉事業推進のための財源確保に努めました。

- (1) **社会福祉大会の開催** 町と協議の上、時間短縮、参加者を少数にして開催
100歳表彰の該当者に会長よりお祝い品を贈る
明坂忠子様 明坂美代子様 筒井梅子様
福島静子様 和田邦美様
- (2) **福祉とさちょうの発行** 2,100部 3回
▶ 物価上昇の影響により、7月発行分より印刷数を2,300部から2,100部に変更
- (3) **ホームページの運用**
▶ システムの不具合が生じたが、6月より復旧し、福祉とさちょう等掲載し更新
- (4) **フェイスブックによるタイムリーな情報発信**
▶ ボランティア募集やイベント開催の情報を発信
記事アップ数 12回 リアクション数 198件 リーチ数 1,684件
- (5) **住民への理解促進**
▶ 活動計画懇談会にて、地域支援金活用の紹介を実施
- (6) **地区長会における事業理解促進** 4回
- (7) **マスコミ・他の広報紙等への掲載**
▶ 告知端末を活用し見守り協力の依頼を実施 2回
- (8) **各地域、団体を対象とした社協事業説明**
▶ 「あすなろ会」にて、社協事業の紹介を実施 1回
- (9) **地域福祉推進の為に基金の有効活用** 4団体
▶ 石原の里協議会 60,000円
▶ 平石地区 100,000円
▶ 相川ららら 90,000円
▶ 三島地区及び樺地区 50,000円

(10) 募金・寄付・会費増強への取り組み

▶ 地区長会において説明、協力の依頼実施

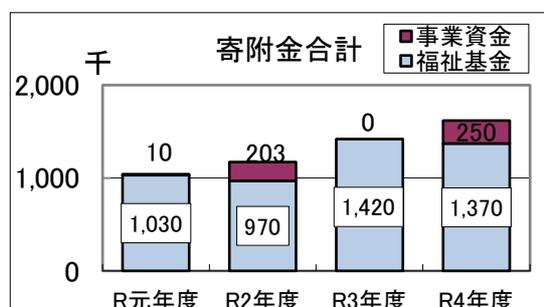
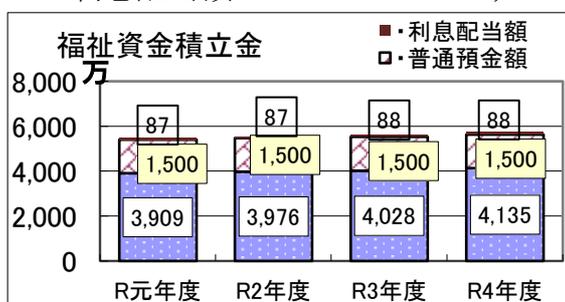
2 回

○ 寄附活動への理解を促進し、福祉基金・事業資金への寄付を受け入れた

- ▶ 福祉基金寄附金 13 人 寄附額 1,370,000 円
- ▶ 事業資金寄附金 7 人 寄附額 249,887 円
- ▶ その他 4 人 米30kg×5袋

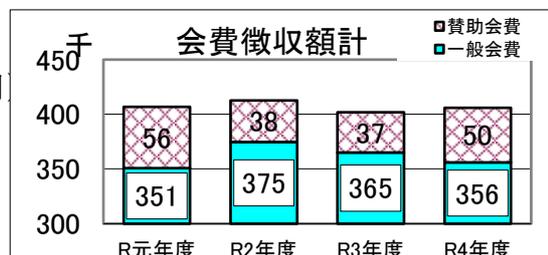
○ 福祉基金積立額

- ▶ 定期預金額 41,354,720 円
- ▶ 普通預金額 15,000,000 円
- ▶ 利息配当額 879,064 円



○ 賛助会員加入推進と会費の徴収に努めた
(一般会員:300円・賛助会員:1,000円)

- ▶ 会費徴収額 355,970 円
- ▶ 一般会費 1,169 世帯
- ▶ 賛助会費 50人(役職員等)



○ 特別会員加入推進

- ▶ 当会の地域福祉推進並びに目的に賛同いただき、入会を受けた
NPO法人 さめうら観光協会 様 NPO法人 黒潮蘇生交流会 様
NPO法人 さめうらプロジェクト 様 NPO法人 れいほく田舎暮らしネットワーク 様

○ 共同募金について住民への周知に努め募金活動を実施した

- ▶ 一般募金 目標額: 923,000 円 実績額: 981,539 円
- ▶ 共同募金配分金事業(一般募金配分額:629,468円)

○ 日本赤十字社土佐町分区として、活動資金募集を行った

- ▶ 日赤活動資金 目標額: 615,000 円 実績額: 575,750 円

各法令や計画に基づき、確実かつ合理的な業務ができるよう改善を図りました。

- (1) **社協強化・地域支援計画におけるPDCAサイクル実施**
- ▶ 9月に中間報告を作成し、推進状況を主任会で確認
 - ▶ 業務目標における計画への具体的な取り組みを推進
- (2) **職員会等における定款・規程・要綱・マニュアルの確認**
- ▶ 職員会における就業規則等の説明 2回
- (3) **労務管理事務の適正化・合理化**
- ▶ 社労士への相談 1回
- (4) **委託事業の評価と今後の方針について行政と協議** 2回
- (5) **団体事務の合理化と団体活動支援** 6団体
- ・民生委員児童委員協議会 ・老人クラブ連合会 ・遺族会
 - ・身体障害者協議会 ・日本赤十字社土佐町分区 ・共同募金委員会
- (6) **理事会(部会)の開催** 4回 (内 部会1回)

理事会		決議事項	参加人数
第1回	令和4年5月27日 13:30～15:37	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度法人本部拠点区分収支決算について ・令和3年度監査報告について ・給与規程の一部改訂について ・令和4年度地域支援金の交付決定について ・理事の候補者について 	理事: 9人 監事: 2人 計 11人
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の事業進捗状況中間報告 	
第2回	令和4年9月21日 13:30～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉大会開催について ・社会福祉大会表彰推薦・感謝状贈呈(案)について ・評議員会(理事の解任)の開催について(書面議決) ・評議員選任解任委員の選任について 	理事: 7人 監事: 2人 計 9人
	部会	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県子ども福祉政策部による社会福祉法人に係る指導監査の改善措置の報告について ・定款の一部改訂について(第25条) ・諸規定の一部改定について(2.6.11.12) ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員(候補者)の選任について ・評議員会の開催について 	理事: 9人 監事: 2人 計 11人

理事会		決議事項	参加人数
第4回	令和5年3月20日 13:30～14:17	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度法人本部拠点区分収支補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度法人本部拠点区分収支予算について ・定時評議員会の開催について ・諸規定の一部改定について ・嘱託職員雇用契約について ・令和5年度業務分担について 	理事 10人 監事 1人 計 11人

(7) 評議員会の開催

4回

評議員会		決議事項	参加人数
第1回	令和4年6月15日 13:30～14:10	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度法人本部拠点区分収支決算について ・令和3年度監査報告について ・理事の選任について 	出席委員 10人
第2回	決議があったものとみなす日 令和4年10月29日 (書面決議)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事の解任の件について 	同意委員 12人
第3回	令和4年12月22日 13:30～14:00	<ul style="list-style-type: none"> ・定款の一部改定について ・諸規定の一部改定について(役員報酬規程) 	出席委員 9人
第4回	令和5年3月29日 13:30～14:17	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度法人本部拠点区分収支補正予算書について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度法人本部拠点区分収支予算について 	出席委員 11人

- ▶ 監事監査 5月 18日
- ▶ 評議員選任解任委員会の開催 12月 14日

(8) 三役会の開催

1回

(9) 職員会 部会 主任会の開催と充実

- 主任会・職員会を実施し、報告・連絡・相談による各部門間の連携に努めた
 - ▶ 職員会 12回
 - ▶ 在宅福祉部会 4回
 - ▶ 法人部会 5回
 - ▶ あったか職員連絡会 5回
 - ▶ 主任会 6回
 - ▶ 地域福祉部会 6回

(10) **職員面談の実施**

- ▶ 会長・副会長面談 1回
- ▶ 事務局長・次長面談 1回

(11) **訪問介護・障がい者相談支援事業の安定した経営のための人材確保**

- ▶ 社協広報誌で、訪問介護員を募集した

専門機関からの支援を受け、コンプライアンスの徹底を図るとともに、職員の資質向上をめざし取り組みを進めました。

(1) **資質向上の為の各研修・学習会への参加**

○ 職員の資質向上のため、研修参加を促進した

- ▶ 法人運営・会計関係 3日 延べ 4人
- ▶ 在宅福祉事業関係 13日 延べ 14人
- ▶ 地域福祉事業関係 13日 延べ 13人

(2) **目標をもって業務にあたる評価できる体制づくり**

- ▶ 個別目標シートを实践、(5月に目標を設定し、10月に中間評価を实

(3) **自主学習会(事例検討会)を実施し、協働体制を強化** 1回

(4) **労働局・税務所等専門機関からの指導助言を仰ぐ** 随時

(5) **法改正に則した諸規程の見直し**

- ▶ 9月9日 県指導監査を受け、指導いただいた
- ▶ 定款 一部改訂
- ▶ 経理規程 一部改訂

(6) **先進的な社協との交流・視察研修** 実施なし

(7) **文書保存・破棄・管理**

- ▶ データファイルの見直しを実施

(8) **休暇取得等 処遇改善**

- ▶ パート職員の有給休暇取得を促進
- ▶ 正規雇用職員の夏季特別休暇取得を促進

行政・各関係機関との連携を強化し、即応性のある支援体制をつくるよう努めました。また、第6次地域福祉活動計画と連動した事業の推進に努めました。

(1) **第6次地域福祉活動計画評価委員会の設置・運営**

- ▶ 地域福祉活動計画評価委員会は未実施

- ▶ 第6次計画推進懇談会を開催 ※コロナ感染拡大の影響で令和5年4月に実施繰り下げ

旧小学校区	月 日	場 所	時間
石 原	4 月 10 日	石原コミュニティセンター	18:30~20:00
平 石	4 月 12 日	平石コミュニティセンター	18:30~20:00
松ヶ丘	4 月 14 日	松ヶ丘コミュニティセンター	18:30~20:00
和 田	4 月 17 日	中和田集会所	18:30~20:00
地蔵寺	4 月 19 日	地蔵寺笑学校	18:30~20:00
森	4 月 24 日	保健福祉センター	18:30~20:00
瀬 戸	4 月 25 日	瀬戸コミュニティセンター	10:30~12:00
田 井	4 月 26 日	田井農村環境改善センター	18:30~20:00
南 川	4 月 27 日	南川会館	13:00~14:30
相 川	4 月 28 日	相川コミュニティセンター	18:30~20:00

(2) **行政・社協相互の事業理解と連携を図る**

- ▶ 健康福祉課との連携会議

2 回

(3) **OJT(職場内訓練)に取り組み、各職務の役割を明確化して支援体制を強化**

- ▶ 個別目標シートを作成し、各職員が個々の業務・能力開発目標を定め取り組んだ

(4) **役職員の地域担当制の明確化と地域活動への参加**

- ▶ 懇談会への参加により、各担当地区の支援の方向性の協議、関わりができた

(5) **災害・事故等に関する行動計画を推進**

- ▶ 既存の計画の確認をした

(6) 町・県の実施する連携に関する会議への参加

町	▶ 集落支援員連絡会	11 回
	▶ 役場地域担当者リーダー会議	9 回
	▶ 役場地域担当者会	10 回
	▶ 福祉課との連携会議	2 回
	▶ 生活支援・介護予防連絡会	4 回
	▶ 土佐町地域ケア会議(個別ケア会議)	3 回
	▶ 土佐町要保護児童対策地域協議会実務者会議	3 回
	▶ あじさいネット会議	1 回
	▶ 四者会議 (県・県社協・町・社協)	1 回
	▶ 嶺北4町村社協事務局長 情報交換会	1 回
県	▶ 市町村社協連絡会 事務局長等セミナー	1 回
	▶ 市町村社協連絡会 総務会計部会	2 回
	▶ 市町村社協連絡会 福祉サービス部会	1 回

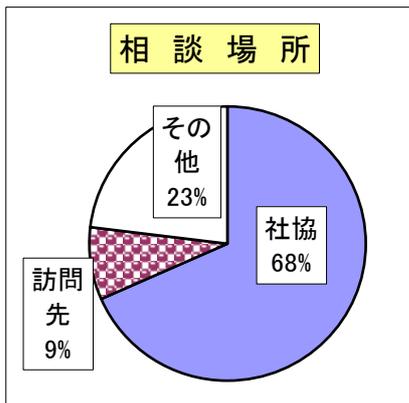
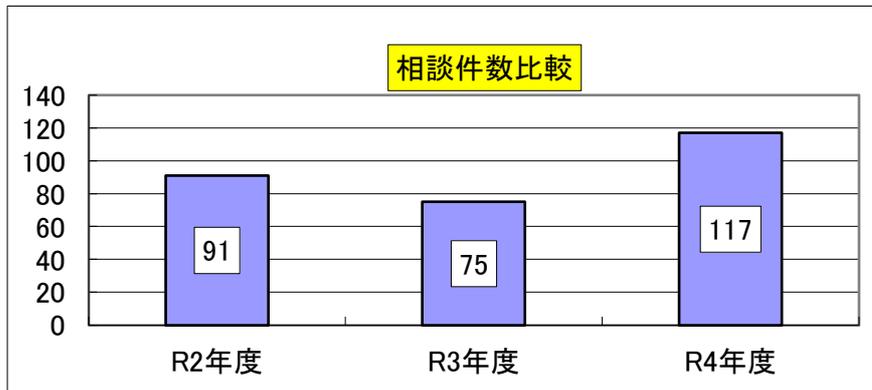
◆在宅福祉部門◆

身近で気軽に相談できるよう相談体制を強化し、訪問介護等により在宅における自立した暮らしを支援しました。

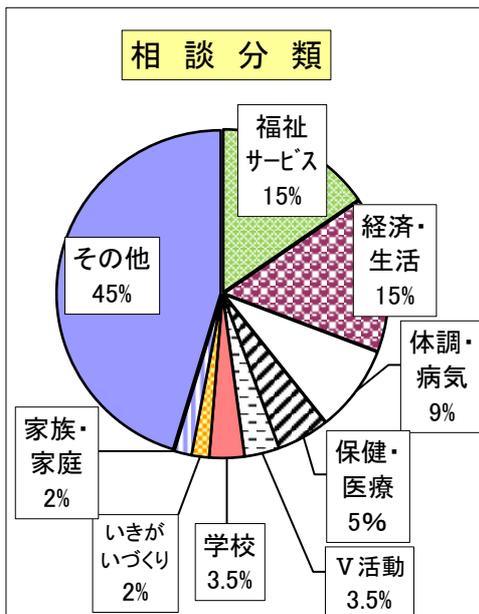
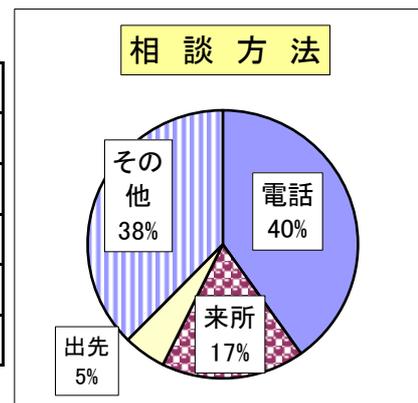
(1) 電話や来所での相談対応(きいてねっと)

117 回

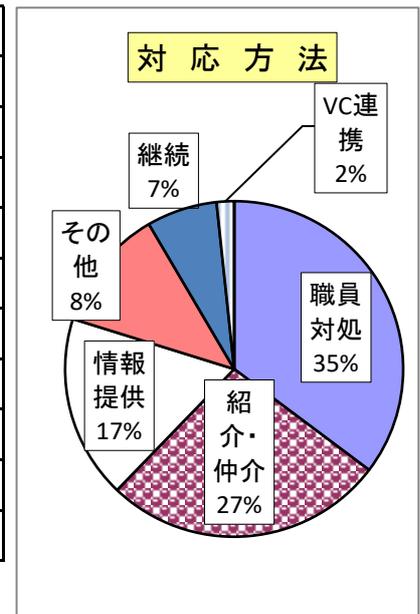
- 総合的な相談窓口として相談を受け付け対応した



相談場所		相談方法	
80	社協	電話	47
10	訪問	来所	20
27	その他	出先	6
		その他	44
117	計	計	117



相談分類		対応方法	
18	福祉サービス	職員対処	42
18	経済・生活	紹介・仲介	32
10	体調・病気	情報提供	21
6	保健・医療	相談のみ	14
4	学校	継続	8
4	ボランティア活動	VC連携	2
2	いきがいづくり	取下	0
2	家族・家庭		
53	その他		
117	計	計	119



- (2) **心配ごと相談所を活用した出張相談対応** 12 回 年間相談件数 4 件
- (3) **自発的に支援が求められない方への伴走的支援**
- ▶ 地域包括支援センターや町保健師等と連携・情報共有
 - ▶ 食料支援をツールとした声掛け、情報提供の実施 4 件
- (4) **訪問介護・居宅介護を通じた在宅生活支援**
- ▶ 高知県集中的検査実施計画に基づく新型コロナウイルス検査を実施
令和5年1月23日～2月28日で75回(ヘルパー5人が週2～3回実施)
 - ▶ 職員体制 ◎サービス提供責任者:1人(正規・介護福祉士)
◎介護福祉士:2人(嘱託・非常勤) ◎2級ヘルパー:3人(非常勤)
 - ▶ 介護保険事業

訪問介護事業	対象者	年間	22 人	(令和5年3月現在 13人)
介護予防・日常生活支援総合事業				
	対象者	年間	10 人	(令和5年3月現在 9人)
 - ▶ 障害福祉事業 対象者 年間 3 人 (令和5年3月現在 3人)
 - ▶ 自立生活支援訪問事業(町委託金対象)
対象者年間 0 人 (令和5年3月現在 0人)
- (5) **生活困窮者自立支援法に基づく自立支援**
- ▶ 職員体制 ◎主任相談支援員:1名(正規)
◎相談支援員:1名(嘱託)
 - ▶ 県・中央東福祉保健所・県社協・町保健師・教育支援センターと連携し支援対応
 - ▶ 関係機関、各団体等の会合・あったかふれあいセンター等に参加し、情報収集
 - ▶ 定期的に各支所、図書館等に関連チラシ等配布、協力依頼、情報収集
 - ▶ 県社協フードバンク、こうち食支援ネットと連携し、食糧支援
 - ▶ 嶺北地域出張ハローワーク開設協力
 - ▶ 研修会、説明会、連絡会等へ(ZOOM)参加 4 回
 - ▶ 個別訪問等で情報収集、要支援者支援 延べ 379 件
 - ▶ 自立相談支援機関受付件数 20 件
 - ・ プラン作成 0 件
 - ・ 他機関につなぐ 14 件
 - ・ 情報提供のみで終了 6 件
 - ・ 相談継続 8 件
 - ・ その他(窓口で完結、打ち切り、解決) 9 件 (上記重複あり)

(6) **障害者総合支援法に基づく計画相談及び自立支援**

▶ 職員体制 ◎相談支援専門員:1名(正規)

○ 一般相談事業を受託し、障害(児)者の相談支援を実施した

▶ 対象者 21人 対応時間 205時間

○ 指定特定相談支援事業(計画相談支援)の状況(令和4年3月末現在)

▶ 対象者 23人

(7) **訪問活動を実施し、顔のみえる関係づくり** 計 2,012 回の訪問を実施

▶ 生活支援コーディネーターによる訪問 93 件

▶ あったかふれあいセンター職員による訪問 870 件

▶ 生活困窮者相談支援員による訪問 379 件

▶ 障害者相談支援事業による訪問 319 件

▶ 日常生活自立支援事業による訪問 351 件

(8) **日常生活自立支援事業による生活支援**

▶ 職員体制 ◎専門員:2名(正規)

◎生活支援員:1名(非常勤)

▶ 利用者 5人(認知症高齢者1人・知的障害者2人・精神障害者2人)

▶ 利用内訳 日常的金銭管理サービス 5人 書類預かりサービス 1人

▶ 新規契約者 2人 解約者 1人 制度利用準備中 2人

(9) **成年後見制度の周知及び権利擁護の取り組みの推進**

▶ 本山町社協法人後見事業運営委員会に参加

▶ 権利擁護研修参加(ヘルパー協・県社協) 2回 3名(訪問介護員)

▶ 障害者虐待防止・権利擁護研修参加 1回(相談支援専門員)

(10) **低所得者層への福祉資金貸付けによる自立生活への支援及び償還指導**

▶ 生活福祉資金貸付事業事務を県社協より受託

令和5年3月31日現在 貸付件数 27件

令和4年度 新規貸付 0件

▶ 新型コロナウイルス感染症特例貸付 24件

貸付件数34件の内、非課税世帯の免除申請を10件対応した

○ 小口生活福祉資金貸付事業(自主財源:500,000円)

▶ 令和5年3月31日現在 貸付件数 0件

▶ 令和4年度 新規貸付 0件

制度の間にある方に手を伸ばし、支援に繋げるよう努めました。

(1) 社会参加応援事業のとりくみ

2 人

- 本事業を利用しながら、資格取得など少しずつ社会との接点広がる支援に努めた
- なんらかの事情で社会参加できていなかった方へ参加しやすい場になるよう努めた
- ネットワーク面談等で情報収集に努めた
- 主任会にて事業のPDCAについて協議した

(2) 社会福祉充実予算を活用した地域福祉活動の支援

福祉充実予算活用に関する支援要請はなかった

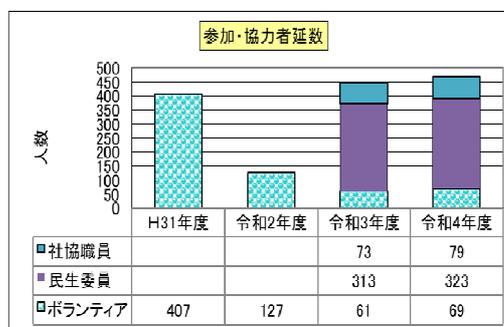
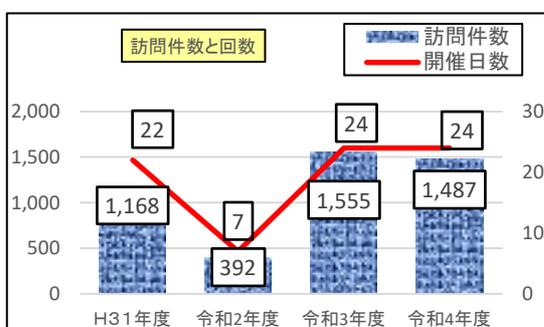
(3) 老人給食事業の見直し、「見守り訪問ふれあい便」の開始

- ▶ 4月より、民児協やボランティアの協力を仰ぎ、必要な方への声掛け訪問を実施

▶ 対象者 85歳以上独居高齢者及び見守りが必要と思われる方 88 人

▶ 訪問件数 1,555 件 (見守り訪問活動として)

▶ 訪問者 民生委員 延 313 人 ボランティア 延 61 人
社協職員 延 73 人



各機関と連携した見守り活動を推進しました。

(1) 民児委員・福祉推進員による地域の実態把握

- ▶ 7月に28人の民児委員と・関係機関でのネットワーク面談を実施
- ▶ 必要なケースの情報は随時受付

(2) 見守り協定団体・警察との連携会議の実施

実施なし

(3) 緊急時の声かけ方法等の検討

- ▶ 行政と連携し、民生委員への声掛け養成や、職員対応を実施

(4) 高齢者世帯防火防災点検の実施

- 消防署、警察署、四国電力等と協力し、防災点検、防犯意識の啓発
4月 21 日 実施地区： 境・宮古野・溜井・伊勢川 対象人数： 19 人
- 嶺北電気工事業組合のボランティア事業で、電気点検や配線の簡易な修理を4年に1度巡回実施 本年度非該当

地域における支援体制づくりに努めました。

(1) 生活支援・介護予防連絡会の協働開催

- ▶ それぞれの立場から把握した情報について協議 4 回
- ▶ あったか推進会議にて地域の実情把握に努めた 9 地区

(2) 地域内での助け合いの促進のため、で愛ふれ愛たすけ愛懇談会実施 未実施

- ▶ 懇談会の目的の再検討や見直しを検討
- ▶ あったか推進会議、民児協・福祉推進員合同研修、社協広報で、支え合いの推進に努めた

(3) 傾聴ボランティア訪問

- コロナウイルス感染症対策をとりながら、訪問や社協への来所で傾聴を実施
▶ 対象者 1 人 5 回

(4) 認知症地域支援推進員を配置

- ▶ 職員体制 ◎認知症地域支援推進員：1名（正規）

○ 多職種協働による事例検討会の実施

- ▶ あじさいネット会議の開催 1回 15人
それぞれの業務について情報交換し地域が抱える問題の把握及び共有化を図る

○ 職員やキャラバンメイト等の資質向上に向けた学習会の実施・参加

テーマ	月日	参加人数	講師
改正道路交通法について 免許返納に関する日々の相談・支援体制	12月13日	16人	免許センター安全運転支援室 2名

- ▶ 7/29(金) 令和4年度認知症セミナー（中四国厚生局地域包括ケア推進）
場所：ZOOMウェビナー、参加：認知症地域支援推進員1名

- ▶ 8/26(金)「地域を変える認知症カフェ」参加
場所: ZOOM、参加: 地域ボランティア等4名、地域包括支援センター職員1名、
認知症地域支援推進員 1名
- ▶ 12/2(金) 令和4年度キャラバン・メイト養成研修参加
場所: 高知市保健福祉センター、参加: 地域住民1名、包括支援センター職員1名、
認知症地域支援推進員1名
- ▶ 第17回大附センター認知症フォーラム(オンデマンド型)
場所: ZOOM、参加: 認知症地域支援推進員1名
- ▶ 3/23(木) オンラインセミナー『認知症本人とともに暮らしやすい地域をつくろう!』
場所: ZOOM、参加: 認知症地域支援推進員1名

○認知症に関する正しい知識の普及啓発

- ▶ 世界アルツハイマーデー9/21 土佐町企業等訪問活動の実施 19 件
スタッフ: キャラバンメイト、認知症サポーター、地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員
- ▶ 小学校での読み聞かせボランティアを活用した認知症理解への学習 4 回

○認知症の人やその人を地域で支える体制づくり

- ▶ 1/19(木) 嶺北高校認知症学習会 講師: 山中しのぶ 参加者: 42名
- ▶ 3/14(火) 回想法(実践型)研修 講師: 藤澤道子、キャラバンメイト 参加者: 12名
- ▶ グループ回想法の実施

つどい	月日	参加人数	講師・スタッフ
とんからりんの家	4月15日	10 人	キャラバンメイト・認知症地域支援推進員
あったか石原	2月10日	12 人	あったか職員(地域サポーター)

- ▶ ケアパスの活用(訪問活動や学習会で活用)

(5) 介護家族のつどいの開催

- ▶ 実施 5 回 参加者 延 19 人
- ▶ 出張型(集いに参加できない方に対し、自宅への訪問) 2 回
- ▶ 講座開催: 7月「在宅介護の心構えとポイント」の勉強会

(6) 認知症カフェの啓発 あったかふれあいセンターの場を活用

- ▶ 認知症カフェ研修参加 延 6 人

行政・関係機関と連携し、個々のニーズに対応するよう努めました。

(1) 民児協との連携による保育・学校・保護者との連携づくり

- ▶ 乳児検診を活用し、主任児童委員による啓発グッズを配布 3 回
- ▶ 新入学時の説明会に参加 1 回

- (2) 地域包括支援センター・行政や民児協等関係機関(者)との連携による協働支援
(ケース会の実施) 28回 内ネットワーク面談23回
- (3) 関係機関と情報共有、ケース会
▶ 障害者相談事業ケース会 1回
- (4) 嶺北地区自立支援協議会へ参加し障害者の課題解決にむけた取り組み
実施なし
- (5) 民児協・学校・保護者・関係機関と連携を強化し、子どもたちの適切な見守り・支援
▶ 障害児や自立支援が必要な世帯にある児童への見守りについて、個々のケースに対応して必要な情報共有を図った
▶ 要保護児童対策地域協議会へ参加 4回
- (6) 就労継続支援B型作業所へ協力し、連携する
▶ 「土佐町ものがたり」カレンダー作業を通じ関係づくりに努めた
▶ 「れいほくの里どんぐり」と連携し情報共有に努めた
- (7) 「やまびこ倶楽部」を通じ、現状の把握や相談に応じる
▶ やまびこ倶楽部 実施なし
▶ デイケア交流会あったかハートふれあい大会に協力 実施なし
- (8) 身障協等と連携し、障害(児)者の社会参加への取り組み
▶ 外出支援 1回 (10月身障協県外研修への支援)

◆地域福祉部門◆

ボランティアセンター役割の明確化と職員の資質向上を図り、より多くの方々が地域活動に参加できる機会をつくりました

- (1) **ボランティアセンター運営計画の作成** 作成済
▶ 内容について地域福祉部会で話し合い 1回
- (2) **ボランティア登録の推進**
▶ 個人・団体の登録を推進 25団体 個人 62人
- (3) **ボランティアに関する調査**
○ ボランティア登録者に意見聴取を実施
- (4) **ボランティア養成講座の実施**
▶ 「いざという時に備えよう！女性の視点にたった防災」講座 27人
- (5) **センターのマッチングによるボランティア活動の促進**
○ あったかふれあいセンターへのボランティアコーディネート 152回 704人
○ 保育ボランティアコーディネート 1回 2人
○ 湖畔マラソンボランティアコーディネート 1回 2人
○ 奨学金返還免除のための地域貢献活動の支援（対象：大学生・専門学生） 11名
(実人数)
- (6) **NPO・ボランティア団体への活動支援**
○ 企業、団体の活動支援とボランティア募集を行った
▶ どんぐりボランティアの会 活動日程の調整
▶ レイクビューさめうら 活動の調整
▶ れいほくねこ部助成金 申請支援
- (7) **NPOや企業等との関係強化**
▶ ほにゃらら新聞配布先への声掛け訪問を実施した 3回
- (8) **NPO団体とのランチミーティングの開催** 開催について再度検討予定

- (9) **災害に備えた体制整備の強化**
- ▶ 教育委員会との共催で防災ボランティア講座を開催 1回 27人
 - ▶ 災害ボランティアセンターマネジメント研修受講 1回 1人
 - ▶ 災害ボランティアセンター所長予定者会議参加 1回 1人
- (10) **地域福祉活動及びボランティアに関する情報の発信**
- ▶ ほにゃらら新聞で収集ボラ等紹介、情報発信に努めた 3回
- (11) **レク資材・印刷機等の貸し出し**
- ▶ レク資材 プロジェクター等資材 8回
 - ▶ 印刷機利用 8回
- (12) **ボランティア活動保険への加入促進** 加入件数 11 団体 260 人

次世代ボランティアの育成と地域や学校における福祉教育の充実を図りました。

- (1) **福祉教育推進計画の作成**
- ▶ 計画の作成については、検討する予定
 - ▶ 福祉教育については、地域への社協出前講座チラシを配布して周知に努めた
- (2) **学校や教職員との福祉教育の推進に係る懇談の実施**
- ▶ 福祉推進校指定について、福祉教育の振り返りについて 2回
- (3) **学校と地域を結ぶ授業カリキュラムの作成・授業のサポート**
- | 学校名 | 打合せ | 授業 | 講師・ボランティア(延べ) |
|--------|-----|----|---------------|
| 土佐町小学校 | 2回 | 5回 | 6名 |
| 土佐町中学校 | 1回 | 3回 | 0名 |
| 嶺北高校 | 2回 | 9回 | 4名 |
- (4) **若年層への地域活動や講座の参加促進等の啓発**
- ▶ 小学生親子対象に「世界に繋がる私のチカラ」講座 1回 15名
- (5) **小地域の要望・課題に合わせた福祉教育・生涯学習の機会の提供** 9回
- ▶ 社協出前講座を提案し、地区長会や懇談会でPRした
 - ▶ とんからりんの家で 回想法:1回、悪徳商法防止啓発:4回
 - ▶ あったか(地藏寺)で フレイル予防勉強会:2回

- ▶ あったか(森)で 口の健康講座:1回
- ▶ 桜会(地域の集い)で 介護グッズについて講座:1回

(6) **学生を対象とした福祉・ボランティアワークキャンプの実施**

- ▶ 8月4日に予定していたが、コロナ感染拡大の影響により中止

第6次地域福祉活動計画の目標達成に向け、住民が主体的に活動できるよう支援をしました。

(1) **地域(福祉)活動支援センター(仮称)の増設に向けた取り組み**

- ▶ 社協事業として、各地域への活動支援に努めているので「活動支援センター」の名称については、今後検討していく

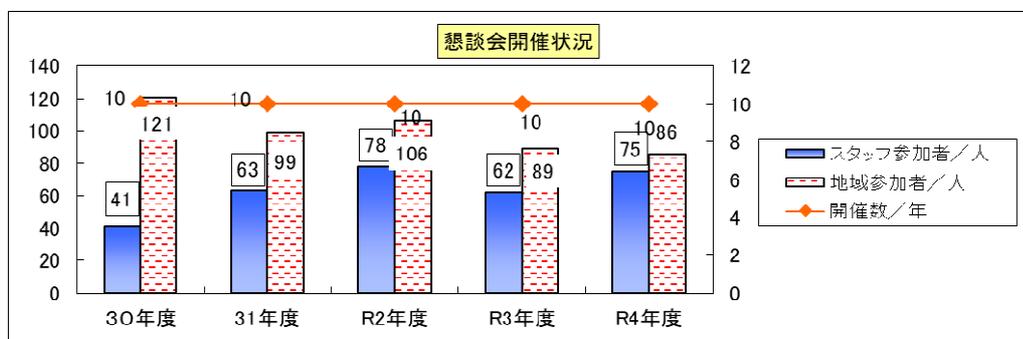
(2) **地域アセスメントシートの活用**

35 冊

- ▶ 地域アセスメントシートを更新。評価委員・職員・関係機関職員に配布し共有
- ▶ 役場地域担当リーダー会にて配布し、会議に活用した

(3) **住民同士の話し合いの場づくり**

- ▶ 活動目標の達成に向け、活動計画を推進する懇談会を旧小学校区単位で実施
※コロナウイルス感染防止対策の為、開催時期を令和5年4月に実施 10回



- ▶ 活動目標推進に向けた推進団体等の話し合いへの支援を行った 48回
内訳(石原7回、相川4回、森18回、松ヶ丘8回、田井11回)

(4) **地域活動支援交付金の活用を促進**

- ▶ 地区長会、地域活動計画懇談会で啓発し、申請に至る支援を行った 4地区

(5) **行政地域担当職員・支援員・協力隊等地域支援における連携会議の開催・参加**

- ▶ 集落支援員・産業振興課・健康福祉課・社協の連絡会に参加 11回
- ▶ 役場地域担当者リーダー会議に参加 9回
- ▶ 役場地域担当者会に参加 (瀬戸2、石原1、相川3、森1、松ヶ丘3) 10回

(6) まちづくりメイトとの連携による、継続した計画の推進

- ▶ 集落活動センター代表や運営委員との関わりによる計画の推進が中心となりまちづくりメイトへの連携には至らなかった

(7) 地域担当職員の役割の明確化と地域支援の強化

- ▶ 地域アセスメントシートの地域支援については各担当職員が作成に関わった
- ▶ 活動計画推進懇談会の案内・連絡・記録など役割を持ち実施できた

旧小学校区におけるコミュニティを持続し、支え合いの基盤をつくり、誰もが参加し活躍できるあったかふれあいセンターの機能強化を図りました。

(1) サロンコーディネーター・地域サポーターの配置

- ▶ サロンCoを1人、地域サポーター10名を配置し、サテライト運営を展開

(2) 拠点・サテライトの安定的な集いの開催(集う)

- ▶ コロナ感染症予防対策を図り実施 250回 延べ 3,628人
- ▶ 8月、2月はコロナ感染症拡大の影響で中止



(3) あったかふれあいセンター推進会議の実施し住民主体の活動を推進

- ▶ 活動評価、計画の策定、生活課題の情報共有 10回 延べ 142人
- ▶ 10か所におけるサテライト開設

集う	250回	延べ	3,628人
交わる	5回	延べ	61人
学ぶ	27回	延べ	306人
送る	205回	延べ	1,847人
生活支援			54件
訪問	129回	延べ	870人

(4) **利用していない方等へのアプローチ強化(訪ねる)**

▶ 地域サポーターと、訪問対象者をピックアップ 訪問件数延べ 870 件

(5) **異世代・地域外との交流の機会の増強(交流)**

▶ 夏休みプロジェクト等企画するが、コロナ感染症拡大の為中止

(6) **専門的指導を強化し、いきがづくりや、健康・教養等の学習プログラムの実施(学ぶ)**

▶ 理学療法士による体力測定や指導及び、健康運動指導士による体操教室の実施

9回 83人

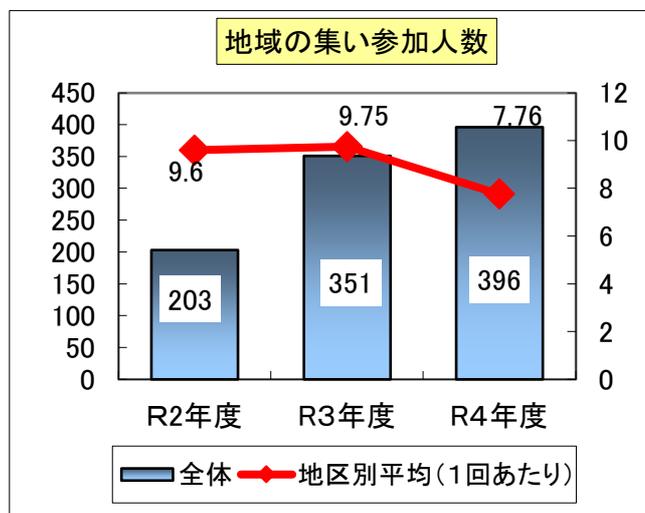
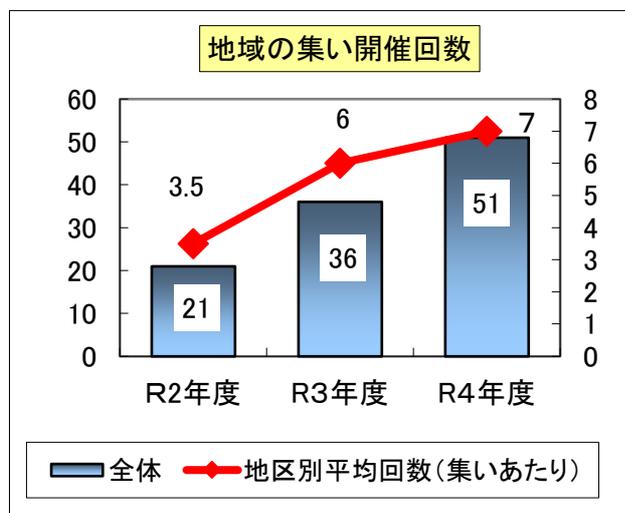
○ 介護予防普及啓発事業(町受託)の推進

コロナ禍で集い開催に不安がある中、消毒等のコロナ対策をとりながら地域での転倒予防体操普及に努めた

▶ 地域の集いにおける転倒予防運動の実施

実施集い人	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
中島ふれあいの集い	2	16	21
上野・田井ふれあい喫茶	8	24	89
桜会	9	8	62
上ノ土居の集い	10	9	52
田井なでしこふれあいの集い	5	29	79
舞田の集い	9	7	48
宮古野のつどい	8	9	45
合計	51	102	396

※宮古野の集いは自主開催に向けて検討・準備中



▶ あったかふれあいセンターにおける転倒予防運動の実施

サテライト拠点	回数	参加人数	
		実人数	延べ人数
平石	8	14	51
地蔵寺	12	22	180
和田	7	15	71
森	30	21	299
石原	8	21	114
松ヶ丘	7	18	83
相川	8	12	60
南川	8	12	72
黒丸・下瀬戸	0	0	0
とんからりんの家	138	49	1,970
合計	226	184	2,900

▶ 若い世代に向けての普及啓発教室を開催

若い世代に向けての教室(フレイル予防) 3回 40人

トレーニングサポーター養成講座 6回 66人

▶ 包括支援センターと連携し高知県が実施する健康パスポートの取組みを実施

▶ 普及啓発のためアルコールハンディウエットを作成し配布

▶ DVDやリーフレットを活用し口腔ケア・脳トレを実施 5ヶ所 54人

(7) ゆうあい号の活用等ニーズに沿った送迎体制・外出支援の充実

○ ゆうあい号・ノアを有効活用し送迎の支援をした

▶ あったかふれあいセンター及びとんからりんの家利用者の送迎

▶ あったか強化事業において、送迎における運転手雇用を継続

(8) ゲートキーパー機能を意識し、必要な支援につなぐ

▶ つなぐ(行政・家族・民生委員等) 延べ 22件

(9) 地区の実情とニーズに沿った集いの開催・検討

▶ 「おんちゃん集い」や「宮古野地区での集い」では、ニーズに合わせた開催支援に努めた

(10) 住民主体の集い運営の支援

▶ 集いリーダー連絡会 1回 5人

▶ 地域の集い支援 7カ所 396人

▶ 外出支援 4カ所 47人

(11) 地域見守りマップ(仮称)の作成

- 各地区で、おおむね作成が終了した(松ヶ丘・石原・南川・森・瀬戸)

(12) 働ける場やしくみをつくるなど集い機能の強化

- あったかふれあいセンターの場でのアプローチを実施
 - ▶ あったか相川:しめ縄作成・販売
 - ▶ おっちゃんの集いを開催してきたが、働くしくみの展開には至っていない

(13) 日常生活上の課題解決に向けた支援

- ▶ 生活支援 54 件